

科目	単位 (時間数)	時期	講師名 (職名) (時間数)		
※ 助産診断・技術学 I	2 (45)	1 学期	① 教育主事 (助産師) (13)	② 教員 (助産師) (20)	
			③ 院外講師 (助産師) (4)	④ 院外講師 (助産師) (8)	
目標					
妊娠期における助産過程の展開に必要な診断と技法、および助産の実践に必要な基本技術を修得できる。					
回	時間	項目	授業内容	授業方法	講師
1	2	妊娠期の助産診断と助産過程の展開【事例学習】	1) 助産診断学の概要、診断類型 2) 妊娠経過の診断 (母体・胎児及び付属物) 3) 健康生活診断 基本的ニード、心理的側面、社会的側面、出産育児行動	講義	①
2	2		4) 妊娠期の助産診断 (京野 都さん事例) ①妊娠初期の助産過程の展開 1 パラグラフ 1 ※妊娠の診断法含む	講義	
3	2		②妊娠初期の助産過程の展開 2 パラグラフ 2 ※妊娠初期検査とデータ解釈含む 母子感染症	講義	
4	2		③妊娠中期の助産過程の展開 3 パラグラフ 3 ※妊娠中期の検査、胎児評価含む	講義	
5	2		④妊娠後期の助産過程の展開 4 パラグラフ 4 ※妊娠後期の異常予測含む	講義	
6	2	妊娠期の助産技術	1) 妊婦のフィジカルアセスメントと助産技術 ・腹部触診、胎児心音聴取、骨盤外計測 ※内診は「助産技術演習」で教授	演習 GW	②
7	2		2) 妊婦健康診査シミュレーション① 京野 都さん事例 パラグラフ 4 妊娠 32 週場面 ロールプレイ	演習 GW	
8	2		妊婦健康診査シミュレーション② S「最近・・・」 妊婦の訴えに対応してみる	演習 GW	
9	2	妊娠期の主体性を尊重した出産を支援するケア	1) セルフケア能力を高める支援 ①妊娠期の栄養指導 ②母乳育児推進と乳房ケアの基礎理論	講義 GW	②

10	2		③出産準備教育、バースプラン ④マイナートラブルに対する援助 ⑤妊娠期に必要な届け出と保護規定	講義 GW	②
11	2	妊娠期の正常からの逸脱の診断とケア	1) 妊娠期の正常からの逸脱の診断とケア ①切迫流産・切迫早産	講義 GW	①
12	2	ハイリスク妊娠の アセスメントとケア	②糖代謝異常合併 ③甲状腺疾患合併	講義 GW	②
13	2		④妊娠高血圧症候群 ⑤子宮筋腫合併	講義 GW	
14	2		⑥多胎妊娠、子宮内胎児発育遅延 ⑦前置胎盤	講義 GW	
15	2	心理・社会的問題をもつ妊婦のケア	1) 心理・社会的問題をもつ妊婦のケア 若年妊婦、高齢妊婦、在日外国人 特定妊婦のケアと多職種連携	講義	③
16	2				
17	2	周産期の超音波診断法、ME 機器とその診断法	1) ME 機器とその診断法 ①胎児心拍陣痛図判読の実際 ・妊娠期の評価、分娩期の評価	講義	④
18	2				
19	2		②超音波による診断 妊娠初期、妊娠中・後期 超音波による血流計測	講義 演習	
20	2		③包括的な胎児の健康状態の把握 ・バイオフィジカル・プロフィールスコア 2) 超音波診断法の実際 【演習】 ・診断装置と使い方		
21	2	妊婦健康診査シミュレーション③ (金魚鉢式) シミュレーション、デブリーフィング		演習	②
22	2	妊婦健康診査 OSCE、リフレクション		試験	
23	1	終講試験 (45分)		試験	①
授業形態	講義、演習、GW				
評価方法 点数配分	筆記試験 80点 (講師① 30点、講師② 30点、講師④ 20点) 技術試験 (妊婦健康診査 OSCE) 20点 (講師①②) 履修規程第5条、第6条に定めるとおりとする。				
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・助産学講座 6 ・助産師基礎教育テキスト 4 ・助産師基礎教育テキスト 7 				
参考図書等	<ul style="list-style-type: none"> ・マタニティ診断ガイドブック ・産婦人科診療ガイドライン 2023 産科編 				
備考	講師の授業時期は並行あるいは前後することがある。 ※この科目は実務経験のある教員による授業科目である				